

「目的から考える授業デザイン～“良い授業”とは何か?～」

●今日の流れ

①話題提供

- ・AL型授業の背景
- ・授業デザイン的前提
- ・授業デザインの具体例
- ・ツールとしての評価
- ・学校の価値とは

②「板書」と「ノート」に関するグループワーク

③アクティブ・ラーニング・パターンを用いたグループワーク

④議論の共有、質疑応答

●「板書」と「ノート」について

①「板書」と「ノート」についてご自身の授業に当てはまるものに丸をつけてください（複数回答可）。

- 1、板書をしている。
- 2、生徒に板書の写しをノートにとらせている。
- 3、生徒に板書の内容も含めてノートにメモを取らせている。
- 4、パワーポイント等のスライドを提示している。
- 5、スライドを紙もしくはデータで共有している。
- 6、ノートの形式や記入の仕方を指定している。
- 7、ノート提出をさせている。

②上記以外で「板書」と「ノート」についてご自身の授業で実践していることがあれば記入してください。

③「板書」と「ノート」についてご自身の授業で実践していることの「目的」を記入してください。

【メモ欄】

●授業を考える視点

①課題の質

- ・知識獲得型
- ・知識活用型
- ・探究型

②教員の関わり方

- ・知識伝達（講義）
- ・ファシリテーター
- ・活動の補助
- ・壁紙

※「やり方 (doing)」と「在り方 (being)」という視点

③活動内容

- ・自分たちの力のみで進める
- ・教員からの講義があって、それを受けて自分たちで活動を進める。
- ・自分たちで活動を進めた後で、教員からのまとめの講義がある。
- ・個人で活動する。
- ・グループを組んで活動する。(ランダム or 恣意的 or 自由)
- ・個人活動、グループ活動をそれぞれが判断して自由に活動する。

④評価

- ・授業への関わり
- ・課題提出、ノート提出
- ・成果物作成（レジュメ、スライドなど）
- ・プレゼンテーション
- ・定期試験

※「評価」をすることのメリット・デメリットは？

※その「評価」は授業の「目的」と合致しているか？

※「評価」をすべきもの、「評価」をすべきでないものは、どのように判断されるか？

⑤試験の設計

- ・知識確認（穴埋め、一問一答）
- ・知識確認（基本論述）
- ・知識活用型
- ・探究型

